

豊田小だより No.7

～ふるさとを愛し 自ら学び続ける子ども～

令和6年9月15日発行
中山町立豊田小学校
校長 大津
住所:中山町土橋645
電話:023-662-2058

2学期始業式

今年度は、8月末の残暑が毎年のように厳しい気象状況から、夏休みを1週間ほど後ろにずらし、8月28日を2学期の始業式としました。始業式では、校歌斉唱の後、3年生の児童が一人一人2学期のめあてを発表しました。「計算を頑張って苦手を克服したい」「話す人の方を向いて聞くようにしたい」など、自分の頑張りたいことを、堂々と発表しました。また、校長から児童へ向けて次のような話をしました。「夏休み中に開催されたパリオリンピックでは、たくさんの日本の選手が活躍しました。男子体操団体では、最後の種目で大逆転し、優勝しました。スケートボードの男子選手は、3回連続失敗のあと大技を決めて金メダルを取りました。あきらめない気持ちが、金メダルにつながったと思います。女子のスケートボード、やり投げ、レスリングなど、とても楽しそうに競技する選手も多く見られました。自分の『好き』をつきつめた結果、金メダルを獲得できたのだと思います。2学期は、「あきらめない」「好きをつきつめる」を合い言葉に、一人一人それぞれの良さを生かして、がんばっていきましょう。」



夏休みが明けても、まだまだ暑い日は続きます。外遊びや体育の制限、学校での水分・塩分の補給、下校時の見守りなど、昨年までと同様、子ども達の健康、安全を最優先に学校運営を行って参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、子ども達が安心、安全に生活できるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に行われた全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この調査は、毎年4月に小学6年生と中学3年生を対象に行われています。小学校は、国語と算数（年によっては理科も）の学力と、学習や生活の状況を把握するため行われるものです。今年度の本校の結果についてお知らせします。

【学力調査の結果】

	全国（平均）と比較し本校（平均）は	県（平均）と比較し本校（平均）は
	下回る	下回る
国語	↑物語を読んで、心に残ったこととその理由を書く。 ▼目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する。 ▼登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基にとらえる。	
	下回る	ほぼ同じ
算数	↑データを読み取り、分類整理をする。また、データを基に思考する。 ▼球の直径と立方体の一辺の関係を理解し、球がぴったり入る立方体の体積を求める。 ▼計算に関して成り立つきを理解し、求め方と答えを記述する。	

※ ほぼ同じ：±1ポイント以内 やや上回る・やや下回る：±1～3ポイント 上回る・下回る：±3ポイント以上

【学習状況等調査の結果】

（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計が、全国平均より10ポイント以上良かった項目）

- ◎自分には、よいところがあると思う。
- ◎分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫している。
- ◎授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んできた。
- ◎算数で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている。

このほかにも、多くの項目で良好な回答状況でした。全国調査の結果が学力の全てではありませんが、なお一層の授業改善に取り組み、子ども達の「生きてはたらく力」を育む教育を行ってまいります。

ふるさとを愛する子ども

【紅花学習】

8月29日、4年生は総合的な学習の時間に取り組んでいる「紅花学習」で、種取りをしました。今年は、発芽率が思わしくなく、何度も種をまいたり、他で育った苗を植え替えしたりしました。黒塀の里山保存会の井上節子さんには、ずっと畑を見守り、様々なお世話をしていただいたおかげで、例年と同じくらいの収穫を上げることができました。今回穫った種は、次の4年生へと引き継がれます。また、紅花学習は「紅餅づくり」「紅花染め」と続いていきます。



自ら学び続ける子ども

【学び続けた夏休み】



夏休みの宿題は、全学年で、おさらい帳（夏にチャレンジ）と作品作り（感想文、自由研究、工作、図画など）を出しました。中央ホールと図工室で「全校夏休み作品展」を行いました。自分で考えたテーマでの自由研究、工夫を凝らした工作、のびのび描いた図画など、夏休みも自分で「学び続けた」ことがうかがえる作品ばかりでした。今年も暑い夏でしたが、充実した夏休みを過ごせたことをうれしく思います。

身体計測、今と昔

2学期が始まって、児童の身体計測を行いました。その様子が、右の写真です。昭和の頃は、服を脱いでパンツ1枚になって測定していましたが、今はプライバシー保護、子どもの心情への配慮などの観点から、着衣で測定しています。また、測定項目は身長と体重のみで、胸囲、座高は測りません。胸囲は1995年に、座高は2014年に「健康管理との関連性がない」「測定に時間がかかる」という理由で廃止されました。また、毎月体重測定をしていたはず、と記憶されている方もいらっしゃると思います。今は、年2～3回の測定です。栄養状態や衛生環境が改善され、測定回数も少なくて大丈夫になってきました。2学期はじめての測定で、心配するような体重の増減があった子はいませんでした。



SDGs…持続可能な社会をつくる

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、「持続可能な開発目標」と訳され、全部で17の目標が設定されています。そのねらいは、「地球の環境を壊さず、資源を使いすぎず、未来の世代も美しい地球で平和に豊かに、ずっと生活し続けていける社会をつくる」ことです。

国が策定した教育振興基本計画、県が検討している第7次山形県教育振興計画にも「持続可能な社会の創り手を育てる」という方針が示されています。SDGsを取り上げて学習するというだけでなく、教科学習や日常生活の中で、自分がどのように世界とつながっているのか、自分の行動が将来にどんな影響を及ぼすのかなどを考える意識を育てていくことが重要と考えています。SDGs 17の目標は、インターネット等で容易に入手できます。興味のある方は、是非ご覧になってください。

子ども達の活躍（夏休み）

【県学童水泳競技大会】（4年生以下は校内記録を設定していません）

50m自由形	3年	O. A	36秒86（2位）
〃	3年	I. I	38秒93（4位）
〃	5年	O. Y	36秒02（10位、校内新）
50mバタフライ	6年	I. N	30秒48（1位、校内新）